

## 1. 学校の教育目標

「わが学園は教育を通して『努力心』『誠実心』『独立心』を養い、平和社会の建設に貢献する人材を育成することを使命とする」この本学園の建学の精神のもと、「日本で、また母国で正々堂々と働くことのできる人材、社会にとって有用な人材を育成することを教育目標として掲げ、その実現に努力している。

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ・就職実績・進学実績の向上及び進路先で活躍できる人材の育成
- ・就職率（内定率）85%の達成（経理ビジネス科・情報ビジネス科）
- ・外部試験の成績向上、交流授業の充実、就職指導の体制づくり（日本語科）
- ・保育士・幼稚園教諭の両免取得が可能な教育（併修）の体制整備（保育士養成科）
- ・保育現場との連携強化（保育士養成科）
- ・アクティブ・ラーニングの実践
- ・ユニットベース（当学園学生管理システム）の運用による学生状況把握と指導への活用

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標	委員の評価	A
評価項目		
・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）		
・学校における職業教育の特色は明確になっているか		
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか		
・学校の理念・目的・育成人材像などが学生・保護者等に周知されているか		
・学校の理念、目的、育成人材像は学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか		
①課題		
・社会の変化、保育現場のニーズの変化に対応し、柔軟に変化していく姿勢を保つ		
・学校の教育理念を学生・保護者により明確に伝えていく（専門課程・日本語科）		
②今後の改善方策		
・カリキュラム、シラバスの定期的な見直し		
・学校目標をより簡潔な表現にし、ストレートに学生に伝えていく		
③特記事項		
・社会のニーズに合わせた人材輩出のため、科名、カリキュラムの見直しを図った（経理ビジネス科・情報ビジネス科）		
・教育内容の進化・深化に合わせたカリキュラムの見直しを図った（保育士養成科）		

## (2) 学校運営

委員の評価

A

評価項目

- ・目的に沿った運営方針が策定されているか
- ・運営方針に沿った事業計画が策定されている
- ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか

・人事、給与に関する規程等は整備されているか
・教務、財務等の組織整備などの意思決定システムは整備されているか
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか

①課題

- ・出席管理等の定型業務の効率化

②今後の改善方策

- ・AIシステムやIT技術のさらなる活用

③特記事項

- ・学校自己評価をHPにて公開している  
 ・科目シラバスをHPにて公開している（経理ビジネス科・情報ビジネス科・日本語研究科・日本語科）  
 ・高等教育修学支援制度の認可を取得

(3) 教育活動	委員の評価	A		
評価項目				
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか				
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか				
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか				
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか				
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか				
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか				
・授業評価の実施・評価体制はあるか				
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか				
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか				
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか				
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか				
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか				
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか				
・職員の能力開発のための研修等が行われているか				

①課題

- ・内部研修、勉強会の時間の確保、外部研修への参加の機会の確保

②今後の改善方策

- ・内部研修のテーマの精査、年間計画への盛り込み

### ③特記事項

- ・異学年交流、地域保育所・福祉施設等との交流や連携の機会を持つことができた。
- ・年に2回の授業アンケートを確実に実施し、フィードバックにより授業の質の担保・研鑽を図っている
- ・実習やインターンシップ制度の枠組みが確立され、学生は安心して企業実習に行くことができている

### （4）学修成果

委員の評価

A

#### 評価項目

- ・就職率の向上が図られているか
- ・資格取得率の向上が図られているか
- ・退学率の低減が図られているか
- ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか
- ・卒業生のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか

#### ①課題

- ・卒業後の学生のキャリア形成の把握

#### ②今後の改善方策

- ・卒業後の学生キャリアの追跡調査のシステム構築
- ・校友会（岩谷学園同窓会組織）との連携を含めた体制づくり

### ③特記事項

- ・卒業制作発表会に、学生就職先企業などから20名ほどの方がおいでになり、学習成果の評価をいただけた（経理・情報ビジネス科）
- ・2019年3月卒業の学生（留学生）の約90%が技術・人文知識・国際業務の在留資格を取得した（経理・情報ビジネス科）
- ・近隣保育園の園児を招いた発表会を開催できた（保育士養成科）
- ・キャリアセンターとの連携システムが確立されつつあり、今後もキャリア形成支援の向上が期待される

### （5）学生支援

委員の評価

A

#### 評価項目

- ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか
- ・学生相談に関する体制は整備されているか
- ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
- ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか
- ・課外活動に対する支援体制は整備されているか
- ・学生の生活環境への支援は行われているか
- ・保護者と適切に連携しているか
- ・卒業生への支援体制はあるか
- ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
- ・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取り組みが行われているか

①課題

- ・図書の充実
- ・学生の生活指導に関する担任の負荷

②今後の改善方策

- ・図書の整備
- ・学生の抱える問題に対するチーム対応の強化

③特記事項

- ・チーム内情報共有とチーム対応の体制が構築されつつあり、退学者数を減らすことに成功している
- ・進路指導については、「進学指導」「就職指導」それぞれに担当を置き、十分な情報を学生に提供し、進路実現に貢献している

(6) 教育環境

委員の評価

B

評価項目

- ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
- ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
- ・防災に対する体制は整備されているか

①課題

- ・建物の老朽化とスペース不足（3号館・4号館）
- ・十分な飲食スペースの確保
- ・バリアフリーに建物が対応していない（3号館）

②今後の改善方策

- ・老朽箇所の修繕
- ・既存のスペースの有効利用・多目的化
- ・エレベーターの設置を検討

③特記事項

- ・1号館は改装を終え、美観を保っている。教室も明るく、快適な空間となっている
- ・3号館・4号館については修繕計画を進めている

(7) 学生の受け入れ募集

委員の評価

B

評価項目

- ・学生募集活動は、適正に行われているか
- ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
- ・学納金は妥当なものとなっているか

①課題

- ・当校の取り組みや特色をより十分に伝えていく工夫（保育士養成科）
- ・経費支弁能力の確実な確認（日本語科）

②今後の改善方策

- ・広報活動の工夫（保育士養成科）
- ・経費支弁能力の事前確認方法の検討（日本語科）

③特記事項

- ・教育内容・成果が評価され、高倍率で学生募集ができている（経理・情報ビジネス科、日本語研究科）
- ・次年度、委託訓練生の定員倍増

(8) 財務

委員の評価

A

評価項目

- ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
- ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
- ・財務について会計監査が適正に行われているか
- ・財務情報公開の体制整備はできているか

①課題

- ・社会情勢の急速な変化や不測の事態に対応できる準備
- ・少子化が進む中で、中長期的にも安定的に学生募集を継続する新たな方策

②今後の改善方策

- ・幅広い国や地域からの学生募集の強化
- ・学生から選ばれる学校として継続していくよう、教育の質の維持また向上の検討

③特記事項

- ・現在の財務基盤は安定している

(9) 法令等の遵守

委員の評価

A

評価項目

- ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
- ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
- ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
- ・自己評価結果を公開しているか

①課題

- ・個人情報に関する法令の理解の深化

②今後の改善方策

- ・部内研修の充実

③特記事項

- ・当学園の全体研修において個人情報や肖像権に関する研修を実施している
- ・学校自己評価をHPにて公開している

(10) 社会貢献・地域貢献

委員の評価

B

評価項目

- ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
- ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか
- ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか

①課題

- ・学生のボランティアへの意識の向上
- ・学生のボランティア活動とアルバイトとの時間的バッティング

②今後の改善方策

- ・ボランティアの意義の説明・啓発を授業に織り込む
- ・ボランティア情報の提供
- ・学園祭など、地域と留学生の交流の機会のさらなる活用を検討

③特記事項

- ・公共職業訓練の受託を行っている（保育士養成科）
- ・近隣の保育園児を発表会に招き、楽しんでいただく機会を設けている（保育士養成科）

(11) 国際交流

委員の評価

A

評価項目

- ・留学生の受け入れ・派遣について戦略を持って行っているか
- ・留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか
- ・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか
- ・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか

①課題

- ・受入時の経費支弁能力の確かな情報入手

②今後の改善方策

- ・経費支弁立証資料評価の見直し

③特記事項

- ・海外からの、そして国内の留学生募集を組織的に行うスキームが構築されており、「きちんとした」学生を集めることに成功している
- ・「適正校」認定を継続できている
- ・卒業制作発表会に10社を超える企業様（延べ20名）においていただき、留学生による発表を評価していただいた

※ 各評価項目における評価点（「適切：4」、「ほぼ適切：3」、「やや不適切：2」、「不適切：1」）

その平均値（小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで表示）を以下の基準により表示した

評価	基準
A	4.0～3.5
B	3.5～3.0
C	3.0～2.5
D	2.5未満

評価者：岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校教職員

（評価期間：2019年4月1日～2020年3月31日）

岩谷学園テクノビジネス横浜保育専門学校 学校自己評価組織図（2019年度評価）

